梅のさと便り 12月号

No. 406 R5. 12. 1
梅光苑　文芸部

今月の予定

6日（水）　お誕生祝膳
25日（月）　クリスマス
31日（日）　大晦日

「鋳銭司ふるさと祭り」に梅光苑も参加しました
～インドネシア実習生もお手伝いしました～

令和5年11月12日(日)、「鋳銭司ふるさと祭り」に梅光苑も参加しました。
会場が新しい鋳銭司地域交流センターに移り、今年が2回目の開催となりました。
梅光苑のテントでは、バザー用品の販売を行いました。
併せて、今回は新たに文化交流の一環として、インドネシアからの実習生も参加。パネルでの自国の紹介やパイナップル・ジャム入り焼き菓子「ナスタル」を皆さんに試食してもらいました。

「 令和5年！！ 今年の三大ニュース 」

特別養護老人ホーム梅光苑

1位.　新型コロナ感染症　施設内で感染拡大

今年7月19日、最初の感染者を確認後、初動対応の遅れから施設内のご利用者・職員の感染拡大を招いてしまいました。収束までの約一ヵ月間、保健所からご指導・ご支援を頂きながら、職員一丸となって事態の収束に向けて全力で取り組みました。

その間、ご利用者・ご家族の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けしたこと、心からお詫び申し上げます。

今後、さらに感染予防対策を徹底し、安心して過ごしていただけますよう、職員一同、力を合わせて参ります。皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2位.　特定技能実習生として、引き続き三名が働くこととなりました

外国人技能実習生としての契約が今年の3月で終了した一期生。そのまま残ってくれた１名と一旦インドネシアに帰国したものの、今年7月から再度戻ってきてくれた２名、合わせて３名が当苑で働いてくれています。

そのうちの一人、アプリリアは、「一緒に働く人は、みんな優しいですし、地域の人たちも温かく迎えてくれました。とても感謝しています。よろしくお願いします」と話しています。

3位.　九州・山口「生涯現役社会推進大会」宮崎県大会において、宮崎県知事より表彰されました

令和5年10月31日、宮崎市において、標記の大会が開催され当苑からは内田苑長が出席、表彰を受けました。

今回の受賞は、永年に亘り高年齢者の雇用促進に先進的かつ積極的に取り組み「生涯現役社会」づくりに寄与した功績が認められたものです。

「梅光苑は大きな大きな家庭です」という梅光苑理念のもと、職員一人ひとりが助け合いながら「生涯現役」で働けるよう、苑全体で取り組んで行きます。

仏教婦人会　奉仕作業に汗を流されました

令和5年11月6日(月)　仏教婦人会の皆様が奉仕作業で来苑されました。
当日は天候が心配されましたが、二棟裏庭の雑草取りや落ち葉拾いをしていただきました。
「はじめは、桜の落ち葉の多さにどうなるかと思った。でも、きれいになった庭を見るととてもよかった」と参加した婦人会のメンバーは話していました。

かわばた邸　12月のイベント情報

毎週　水曜日10:00～12:00　百歳体操(元気いきいきひろば)
　　金曜日13:30～15:30　百歳体操(元気いきいきひろば)
1日(金)　10：00～11：00　クラッシックCDコンサート
9日(土)　13：30～15：30　カフェかわばた　参加費100円
　ちょっぴり早いクリスマス会　鋳銭司ハーモニカクラブ演奏会・歌
11日(月)　13：30～15：30　カフェかわばた　参加費100円
　おしゃべり会　今年の総まとめ　みんなで年忘れ
15日(金)　10：00～11：30　健康相談　小郡保健福祉センター保健師
18日(月)　13：30～15：00　オカリナ演奏会
20日(水)　13：00～16：00　囲碁の会
27日(水)　13：30～15：30　うたごえ喫茶　みんなで歌おう

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。
　ご確認ください。

『　令和5年！！　今年の三大ニュース　』

梅の里　かわばた邸（地域連携室）

今年もたくさんの方と素敵な時間を過ごすことができました。

振り返っての三大ニュース！

1、自主事業を再開

コロナ禍で中止していたお楽しみの催しですが、５類移行を受けて６月から順次再開しています。毎月のオカリナ演奏会や歌声喫茶。歌うことで皆さんが元気になれると評判です。明るい歌声に笑顔も弾けます。ＣＤコンサートや囲碁も楽しみに待っていただいています。

集う機会が増えることがエネルギーになるのだと皆さんの交流の場を見て確信します。これからもますます機会を増やしたいですね。来年こそは、忘年会や夏祭りの復活ができる事を願っています。

2、８周年を迎えました

たくさんの皆さんのお支えにより、無事８周年を迎えました。

延べ利用者は、２万３千人を超えています。最初から元気に通い続けて下さっている方も多数。中には６００回を超えておられる方もあります。３００回超えは１１名。嬉しいですね！

これからも皆さんと楽しく盛り上がりたいと思います。

3、続々と縁をつないでいます

ずっと来られている方がある一方で、新たなご縁をつなぐことができた方もまたたくさんおられます。

来られる方の口コミ、川東地域包括支援センターからのご紹介、民生児童委員さんからのお誘いなどなど。「かわばた邸に行ってみんかね。元気が出るよ。」と声をかけて下さる方のおかげで新しいご縁が生まれています。

来て見てびっくり、不思議と様々なお知り合いが。皆さんのつながりパワーが人に元気を与えてくれます。

あなたもご縁を見つけに来てみて下さい。これからもどんどん輪・話・和でつながりましょう。

グループホーム　希望の里

１年を振り返ってみると大きな変動も無く過ごせたのではないかと思われます。希望の里では職員1名がコロナ感染しましたがご利用者様は感染せずに過ごされました。

3大ニュースの一つとして今年度から運営推進会議が対面方式に戻り、2か月に1度開催する事が出来ています（年に6回以上の為）。

山口市のグループホームネットワーク作りとして、今年度から他事業所の運営推進会議に参加させて頂いています。当グループホームでも毎回お誘いし、参加して頂いております。　運営方法や行事内容、地域との関わり方など色々と勉強になる事があります。

今後も交流を深め、お互いが協力し合えるような関係が築けることよりご利用者様にとってもサービスの向上に繋がると思いますので先頭に立って交流を深めて参ります。

皆様方には今年もお世話になり有難うございました。また来年も頑張っていきます。

居宅介護支援事業所

一つ目は、新型コロナが5類に移行されてから、コロナ禍前のように人が集まることができるようになり、行事など再開の兆しがあることです。日常がどれほど貴重であるか再認識している毎日です。

二つ目は、梅光苑地域サポートセンターで長らく主任として活動していたケアマネジャーが退職し、新たな主任が着任、また、新職員が入社したことです。新体制で、気持ちも新たに業務に取り組んだ一年でした。

三つ目は、今年も川東圏域の居宅介護支援事業所が集まり、事例検討会を行いました。

今年は、梅光苑以外のケアマネジャーから事例提供をいただきました。他のケアマネがどのように考え行動をしているのかを伺うことで、自分ならどうするかを考え、各自がスキルアップできる時間になったと思います。

グループホーム　陶ヶ岳

ここ数年新型コロナの感染対策で外出・面会等制限がありましたが、5月より新型コロナが5類に引き下げられたことにより、家族との面会や外出等が少しずつ緩和されてきて、利用者・職員も少しばかり気分が明るくなる年でした。

しかし、8月陶ヶ岳内でコロナが感染。利用者・家族には、とてもご心配をおかけしました。感染の拡大を防ぐために、利用者には部屋で過ごしてもらったりと行動の制限をお願いしたりと、ご迷惑をおかけしました。

職員も慣れない感染対策をしながら、これ以上感染が拡大しないようにと気が抜けない日々でした。

10月には萩の大島出身の利用者のために、個別外出支援を行いました。萩までドライブし、そこで約5年ぶりに娘さんと再会されました。

長距離の移動ではありましたが、疲れた様子もなく、喜ばれている姿を見て、個別外出支援が出来て良かったと思いました。

今後も個別での支援を増やせていけたらと考えています。

デイサービス

令和5年度の行事は、色々ありますがその中で印象に残るのは、「夏祭り」「運動会」「敬老会」「クリスマス忘年会」だと思います。

「夏祭り」は、新型コロナウイルス感染があり、月曜日のみの開催で皆さん残念がられていました。

「運動会」では、赤・白に分かれ白熱した競技がたくさんありました。運動会が終わった後、「楽しかったね」と声が聞こえていました。

「敬老会」は、職員の余興（神楽や二人羽織など）を楽しんでもらい大盛況でした。

12月の行事「クリスマス忘年会」がありますが、職員一同がんばって今年一年を締めくくりたいと思います。

みなさん、今年一年ありがとうございました。良い年をお迎えください。